

「図書館への提案」についてのお答え

県立図書館をいつもご利用いただきありがとうございます。

平成30年7月29日にお寄せいただいたご提案について、下記のとおりお答えします。

(提案の要旨)

①オープンスペース（前のデッキ）は、夏、冬、雨天時等の使用が困難

②椅子について

③選書に偏りがある

(回答)

図書館を御利用いただきありがとうございます。

① 1階南側オープンスペースや児童図書閲覧室前のデッキに配置しているテーブルについては、読書、休憩、飲食等多くの方にくつろぎの場として御利用いただいているところです。

また、室外のため開放感がある一方で、御指摘のとおり、日差しが照りつける日や雨天時等は使いづらいという声があることは承知しています。

利用者の方々の声は、デッキを管轄している県庁の都市計画課とも情報共有しており、都市計画課では、今後必要な工夫を凝らしていきたいとのことです。その一つとして、先日、日差し対策の parasol が設置されたところです。

②椅子が硬く、また動かす際の音で不快な思いをされているとのことで申し訳ありません。

2階閲覧室や1階オープンスペースの椅子については、完全に消音することはできませんが、音を抑える措置として、脚の裏にキャップを被せています。ただ、1階展示ホールについては、玉砂利を敷き詰めた床で凹凸があり、椅子を動かす際にはどうして

も音が響いてしまいます。

硬い椅子を座り心地の良いものに買い替えたり、音がしないように床の改修ができればよいのですが、予算上の面からもすぐに対応することは困難だと考えています。

なお、オープンスペースには比較的座面の柔らかい椅子を設置しておりますので、そちらの御利用も御検討いただければと思います。

③当館では、収集方針に沿って、専門性の高い資料や課題解決のための資料を積極的に収集することにしてしています。また、収集する図書の選択を適切に行うため、館長ほか、十数名の職員で構成する選択委員会で審議し、図書の購入を決定しています。

このように、図書の収集業務は、適正かつ慎重に行っており、例示として記載されている図書は、いずれも十分な審議を経て購入しています。

そこで、文芸・歴史物に偏りがあるのではないかと御指摘ですが、現在、本県では「肥前さが幕末維新博覧会」が開催されており、当館は博覧会の関連施設として幕末維新関連の資料の収集や展示を重点的に行っているところです。その結果、歴史物（日本十進分類法 2 類）の購入数が、例年になく多くなっています。

次に、行政内部向け資料については、当館の役割の一つとして行政支援を掲げており、自治体職員を対象とした資料も幅広く収集しているところです。

今後とも、利用者の皆様のよりよい読書環境づくりのために努めてまいりますので、引き続き県立図書館を御利用くださるようお願いいたします。

佐賀県立図書館長